

令和5年度「市長と語り合う会」について（二条地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和5年 9月4日（月）	二条公民館	19:00～19:40	3	1	4

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、産業経済部長、上下水道部長、福祉環境部次長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

1. 令和5年度 施政方針の考え方

・ウィズコロナからアフターコロナへ

新型コロナウイルス感染症については、令和2年2月頃から日本でも問題になり始めたが、本年5月からは感染法上の位置付けが5類に引き下げられ、季節性のインフルエンザと同じ扱いとなったところである。コロナの影響により、世の中の動きが変わり、特にイベントを中止するとか、会合で人が集まることはやめるようにするとか、会議もリモート会議を行うようになる等、日常生活に制限がかかった3年余りであったが、少しずつ以前のような生活、あるいは地域のあり方にしていきたいと思っている。一方、市内の感染者数は、かなり増加し、インフルエンザも同時流行しており心配ではあるが、市内の経済のためにも、また中山間地域では特に人と人が触れ合い暮らししていく事も重要なので、そういった方向に戻していきたいと考えている。

・持続可能な未来都市の実現

持続可能な未来都市というのは、いくつか考えがあるが、一つは、コロナにより、これまでと違う工夫がされるようになった。例えば会議においても、以前は人と人が会って行っていたが、インターネットを使いリモート会議が行われるようになる等、新しい技術を使った生活の仕方が始まった。市においても、本年度から亡くなられた際の手続きを、出来るだけ1カ所で済むようにする「おくやみ手続サポートサービス」を始める等、新しい技術を使い利便性を高めるといった取組を行っている。今後は、窓口で申請書を書かないで、職員が聞き取り処理する「書かない窓口」を進めていきたいと考えている。また、1階の市民課等の窓口も流れがよくなるよう改修も進めていく。

また持続可能な未来都市というのは、地球の環境についても考えていこうという意味も含めている。現在の気候変動に係る温暖化の原因は、人間の生活により二酸化炭素が増えることにより、温室効果ガスが溜り温暖化し気候変動が起こっていると言われている。少しでも影響を和らげるためには、二酸化炭素を減らす必要がある。電気の使用量を減らす、あるいは物を燃やした発電ではない発電を使っていく動きをしている。市では、これまで照明施設をLEDに変えたり、施設の屋根に太陽光パネルを設置する等行ってきた。現在、市で調達する電力も、物を燃やさない電力に切り替えて調達している。先日は、電気自動車の給電施設を製造販売されている会社と協定を結び、市の施設に電気自動車の給電ステーションを設置することとしている。

更に持続可能なという意味でいうと、市の財政状況も大変重要である。物事を進めるうえで行財政運営が安定的に推移するためにも、歳入を増やし歳出を減らす行財政改革の努力も引き続き進めていきたいと考えている。

2. 令和5年は様々な節目の年

・JR益田駅開業100周年

大正12年4月にJR益田駅が開業し、この時に山口線が益田駅に繋がり全線開通した。またその年の秋には、山陰本線も益田駅まで繋がった年であり、鉄道路線が充実した年であった。

鉄道については、JR西日本の経営状況が大変厳しくなっている。コロナの影響や地方の人口減少により利用客が減り、県内でも路線の廃止の動きが出ている。今後は、行政もしっかり活用していくと伴に、市民の皆様にもJRの必要性を認識していただき利用していただくよう進めていきたい。

・萩・石見空港開港30周年

平成5年の7月2日に開港して今年が30周年となる。東京線については、今年の春に2往復運航が令和7年3月まで継続されることが決まったところだが、その後の継続については未定なので、引き続き利用促進に努めていきたい。

大阪線は、夏の間だけ限定運航であるが、期間が延びるようまた維持できるよう利用促進に取り組んでいきたい。

JRについても空港についても、利用していただく皆様が、地域の貴重な交通手段を守ろうという意識で利用していただく事が必要なので、引き続き利用促進を行っていきたい。

・柿本人麿没後1300年

今から300年前の享保8年に1000年忌が行われ、朝廷からも柿本大明神という神様に祀ることが決められたことから、今年が1300年という事になる。地元の方を中心に没後1300年を記念した様々なイベントが行われた。人麿も雪舟と並び益田を代表する文化的な偉人であるので、こうした顕彰を通じ文化、観光いろいろな面で取り組んでいきたいと考えている。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 職員の採用について
- ② 中山間地域の振興について
- ③ ため池の調査について
- ④ ホタル会館の環境整備について
- ⑤ 市道の修繕について

○ 閉会（秘書課長）

令和5年度「市長と語り合う会」

〔会場 二条公民館 開催日時：令和5年9月4日（月）19:00～19:40〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 職員の採用について 職員を募集する時、益田市出身者限定ではなく幅広く人材を求めておられるとは思いますが、例えば、採用時点では益田市に居住する等、採用の基準をお聞きしたい。</p>	<p>① 基本的には、地区を問わず募集をかけ、居住による優遇はしていない。公平公正な採用を行っており、少しでも能力の高い方、意欲のある方等を採用して行く考え方である。ただ実際には、応募者、受験者も市内出身の方が多いのが現状である。いろいろな考え方があるが、市内に限ることが可能だとすれば、身近で地域のことがよくわかり有利であるが、一方で、いろいろな体験をしている職員が一定数いる事で、益田だけの考え方に捉われない事も考えられる。公務員の任用は、出身地で差別しないというのが原則なので、適度な人数であると考えている。</p>
<p>② 中山間地域の振興について 二条地区では、単身の高齢者世帯が増えている。そうした中、中山間の特別な条例が出来たと聞いているが、農家戸数も減り高齢化する中で、二条の農地を守っていくのにどのような施策をされるのか。今、中山間直接支払制度があるが、あの程度の補助金では農地を維持管理していくのは難しい。国の補助に対して上乘せをしてでも、市がこの中山間地域を守っていく気があるのかどうかお聞きしたい。</p>	<p>② 先般、議会で中山間地域振興の基本条例が制定された。具体的内容については、執行部が基本計画を策定することになっており、先日市内関係者によるビジョン会議を開催し、また庁内の連絡調整会議も今後開催する予定である。具体的な計画作りについては、中山間地域、しいては益田市をどう持続可能なまちにしていくのかという観点を持ち、より効果的な計画を作っていく。また、二条地区においては、交通対策についても、路線バスからデマンドバス、乗合いタクシーに切り替え、利便性の高いシステムを考えているところである。</p>
<p>③ ため池の調査について ため池が主な水源であるが、昨年、耐震の強度について調査していたが、その結果について全く地元には説明がない。我々は、そのような調査をすれば改善してもらえと思っていたが、そのような事もない。気候変動してくると特に水源の少ない我々の地域は、生きていかれない。補助率を上げていただいて、ぜひ治していただきたい。</p>	<p>③ 自然災害等で決壊した全国事例があり、県、国において、ため池の緊急調査を実施している。調査結果については、進捗状況を含め確認しお返ししたい。また、ため池の修繕の補助率は、基本的には100%、国が責任をもって直すと聞いている。調査の結果によってどこまでできるのかという事があるので、地元の方々とお話をさせてもらい対応について考えていきたいと思っている。ため池の改修については、地元の水利組合等が事業主体となった補助金もあるので、その辺も含め段取りをしたい。</p>
<p>④ ホテル会館の環境整備について 旧柏原小学校区の活動拠点であるホテル会館で、健康相談等行われているが、先日タブレットを使おうとした際、繋がらなくて困っておられた。携帯も繋がりにくい状況下で、今ひとまるビジョンが一般家庭にWi-Fi等の契約の推進をされている。指定管理を受け管理させていただいているところだが、なんとか対応できるようにしていただきたい。</p>	<p>④ 考えられるのは、携帯、スマホの活用だが、電波が通じない、または弱い場合には、携帯のキャリアに基地局の設置等対応してもらえれば解決するが、採算がとれるかどうかという事を重視するので、人口の少ない利用件数の少ないところは、後回し、または対応は困難である。市としては、携帯会社に不感地域の解消をお願いしており、業者待ちの状態である。もう一つの方法は、言われたように、ホテル会館の方でひとまるビジョンと契約をして頂き、そこでインターネット、Wi-Fi</p>

⑤ 市道の修繕について

市道が痛んである箇所が何カ所もある。1年半前くらいに、市道が崩れていたのを土嚢を積んで修繕して頂いたが、土嚢だけでは弱くまた崩れ、今年の5月頃に写真を見て頂いた。優先順位があるので直ぐには対応が難しいと言われたが、近年、突発的な雨もあるので配慮を頂きたい。

のルーターを繋げば、タブレットが使用できると思う。

⑤ 以前から要望を頂いて、緊急性、危険性等、優先順位の高い所からという事で、お待ちして頂いている箇所が大変多くなっている。コロナ渦における財政状況の中、限られた維持管理の予算であるためお待たせしているが、中山間地域の生活の利便性を維持するために、何とか予算を充実させ早く処置できるようにしていきたい。